

中心市街地循環バス「ぐるる」に関するアンケート(100人会)

集計結果

問8 循環バスへのご意見、ご要望等をご自由にお書きください。

【①運行形態に関すること】

◇運行ルート

No.	意見・要望等
1	・老人のために、病院を経由するルートを追加。 ・東西南北最低4ルートくらい必要。
2	商店街内だけを周遊しては、利用者が街まで出る部分がぬけているため利用者が頭打ちだと思う。住宅街と商店街を結ぶルートに運行がないと利用者は増えない。 現行の路線バスと連携がうまくいっていない。
3	・今のルートは、買物客なら歩いていける狭い範囲なので、バスに乗る気にならない。 ・もっとルートを延ばし、観光施設を周遊する人と、買物をする人が、共に利用できるようにすれば、郊外から中心部に行き来する人も含め、乗客数は増加すると思われる。
4	運行あたりの人数を増やすには、ルートを少し広げるだけで変化が起きるのでは。
5	観光向けのルートのみでは採算が厳しいので、お買物バスを併用する感じでルートを増やしてみてもどうか。右回り、左回りがあれば便利だと思う。 買い物をする主婦や高齢者の需要(地域)を調べ、多くの方に利用してもらえるようなルートを試してほしいと思う。
6	駅東の広面に居住しているが、南通りの線路下をくぐり、金足線を通り秋田中央道路でキャッスル前あたりに行くようなルートがあれば、もっと西口に行って、買い物や飲食、イベントに参加すると思う。徒歩だと片道20~30分かかるし、車を出すのも面倒なので西口に行きにくい。駅東の住人を中心市街地に呼び込んでほしい。
7	地図で見ると、観光地も通っているようなので、もうすこし観光ルートを考えていくと、観光シーズンには人が利用してくれるのではと思う。
8	市外、県外の観光ルートとしては最高だが、千秋公園を拠点として駅から歩けば、にぎわい広場周辺、千秋美術館、足を伸ばせばねぶり流し郷土館、赤れんが館へ行ける。

◇運行本数

1	30~40分おき位にすべきだと思う(多忙期は別)。
2	利用者のニーズに合わせて運行間隔を変更する。
3	現行20分間隔で運行のところを1時間間隔にして運行してはどうか(なくなったら困る人も出てくると思うので)。
4	曜日や時間帯で1時間の本数を増減する。

◇運行時間

1	運行時間の変更。夜7:00、8:00頃まで運行。
2	運行時間を2つに分け、ルートを変える。

◇運賃

1	普段は200円、観光イベントがある日は100円とするなどメリハリをつけた料金設定にしてみてもどうか。
---	--

◇車両

1	バスの外装は、日常生活を忘れるデザインにする、便ごとにユニークな名前(〇〇号)を付けてはどうか。
2	バスもかわいいし、名称も良いと思う。
3	ラッピングバスは目立ってとても良いと思う。

◇その他運行形態

1	どこでも乗り降りできる(バス停廃止)。
2	循環バスを市役所まで運行させる。循環バスを市役所までの運行に合わせて休日、官公庁の駐車場を開放。あるいは無料駐車場を準備。
3	観光客は地図を持ちながら「ぐるる」巡回範囲のルートは、歩きながら廻っている姿を見かける。もし市内観光を重視するのであれば、観光スポットをもう少し多くし、毎日ではなく土、日、祝等に設定し運行した方が良いと思う。 また、運行会社はどこで乗降者が多いかを調査することで、現状の利用目的が見えてくるのではないかと。
4	中心市街地での観光というと「ねぶり流し館」くらいしか思い当たらない。外来の方々に観光してもらうには資源が少なすぎる。観光の視点を変えて、観光シーズンのみ運行というのではどうか。

5	<p>循環バスが運行されていることは、良い発想だと思う。しかし、市からの負担は大きく、この先、このままでは続行の理解は難しい面もあると思う。やめてしまう前に二、三の改善策をとってはどうか。ルートがあまり短距離で、どうい う利用者を対象としているのか、はっきりしない。民間バスとの違いをはっきりさせるためにも、思いきって市内観光 ルートにしぼってはどうか。インパクトのあるキャッチフレーズをつけ、秋田市民も一時間くらいだったら市内観光をし てみようかと思えるようなルートを考えてほしい。ワンマンバスでも、観光案内、歴史の由来、秋田民謡、秋田弁の説 明などテープでも対応できるのではないか。</p> <p>また、ルートが長くなる分、料金も上げた方がいいと思う。秋田駅周辺は、まだまだ県外の観光客が多い気がする。 ホテルに入る少し前の時間等、また学生の歴史の学び等、制約はあるかもしれないが、どこか改善できそうな気がす る。</p> <p>せっかくの「ぐるる」一度乗ってみたいと思う。秋田市の風景は他よりも決して劣っていない。ぜひ秋田の魅力を発進 してほしいと思う。</p>
6	<p>循環バスに乗るため出て行くのが大変。広面場合は中通病院(南通り)方面のバスがないので「ぐるる」バスが広面 の方面も回っているといいと思う。</p>
7	<p>ワンコインでバスに乗れることが非常に便利であり、ぜひ利用したいと思うが、運行ルートが中心市街地のみである ため、自宅から行こうとするとぐるるを使うより、市営のバスに乗った方が早いという不便さがある。ルートをもう少し 広範囲にすることで、中心市街地以外に行く時にも使用する人が出てくるのではないかと思います。</p>
8	<p>仙台にも100円で乗れるバスがあったが、それはルートが割と広範囲で、便利だったのでモデルにするといいかもし れない。</p>
9	<p>以前、仙台に住んでいた時に市内観光循環バス「ループル」というのがあり、観光する時は大変便利で利用してい た。また、神戸に行った時も市内の循環するバスがあり、とても便利に感じた。</p>

意見等について市の考え

循環バスの利便性の更なる向上を図るためには、利用状況や利用者ニーズの把握に努めるとともに、中心市街地を
含め今後予定される道路網や施設の整備による状況変化等を的確に捉え、ルートや時間といった運行形態の見直しな
どの検討を進める考えであり、検討にあたっての参考とさせていただきます。

【②利用状況に関すること】

◇利用者

No.	意見・要望等
1	観光客以外は、乗る人が同じような気がする。
2	市内の方々はあまり利用しないと思う。目的があれば歩いて行ける。路線バスも多く走っており、路線バスを利用し ていると考えられる。
3	バスを利用される方は年配の方が多くかと思われるが(若い人は車での移動が多いので)、年配の方はワンコイン バスがあるので循環バスの必要性が感じられない。中心市街地にもっと人が集まるように活性化する方がいいよう に感じた(何か買い物できる場所、魅力的なお店を支援する等)。
4	中心市街地全体のにぎわいを波及したい目的で「ぐるる」を巡回運行しているようだが、日常のバス利用者は年配の 方がほとんどのように見受けられる。
5	H25年度に調査(卒研)したときには、高齢者の病院利用の足が多く、当初のねらいにあった、なかいちに人を集め てその波及、回遊する利用者はまったく居なかった。当初のねらいと主体との不整合はしっかり市民に説明すべき。
6	高齢者にとって循環バスは足である。赤字だから廃止とすると、増々高齢者の外出機会が失われ、市の衰退がハッ キリし、買い物難民が発生し市中心部も廃れる。バスを継続しながら今後を考えた方がよい。
7	高齢者(低所得)自立支援も含めるとバスはありがたいのでは。
8	今のところ歩いて30分程度の距離だけのコースなので若い人はあまり利用しないかもしれない。17時までははや すぎる。

◇利便性

1	利用したいと思っている(駐車場の心配がない)。
2	<p>ルートがなかいち中心なので仕方ないが、使う人が限られてて、市民の利便性とは関係ないようにも感じる。 もっとスーパーや病院等にも利用できるように駅裏にも範囲を広げて利用者を増やしたらどうか。 観光用であればこのままでも良いが、なかいちや観光スポットを増やしてほしい。南通りは通らなくても良いと思う。</p>
3	<p>市内のお年寄りの人達は大変はりきって利用しているとのこと。ただ、私達の地域の人達は利用するには大変不 便だと思う。駅まで遠いし路線バスの本数もなく、まず駅まで行くには車を使用している。</p>

4	高齢者や幼児連れの人たちにはとても助かっているようだ。ただ運行ルートから離れた地域に居をかまえていると、中心街へは車で行く機会が多く、わざわざバスに乗ることは考えにくい。
5	利用してみたいと思うが、結局はバスを利用して駅へ行くか車で駐車場を利用して帰って来ることになるので、どちらもワンコイン以上のお金をかけて行くことになるので利用しない。無料駐車場があれば利用者も増えるのではと思う。
6	中心街へ行くまでの交通手段が必要だと思う。東西南北地区から中心街までほとんど車を利用。駐車料金がかかる為、遠のいてしまう。モノレール等簡単に行けるのであればかなり活性化されるのではないかと。ぐるるだけではその中心街に住んでる方のサービスに思える。

◇PR、周知

1	循環バスの周知にもっと努力しないと利用者が増えないのではないかとと思う。
2	観光業者(観光者)、市民へ再度告知し認知度を上げる様にして事業継続に理解を求めてはどうかと考える。
3	「ぐるる」というバスが走っているという事を知らない人が多すぎると思う。運賃100円で利用しやすいのに、知らない人は駅前周辺をぐるると歩いているような気がする。もっと認知されると利用者が増えるように思う。
4	PRの手段として、マスコミや媒体の効果的利用を増やしたらどうか。
5	買物にももうすこし利用してもらえよう、認知度を上げていく工夫も必要かと思う。
6	イベントがある時にもっと利用してもらえようポスター等でPRはしているのか。
7	・秋田市民には、あまり浸透していない様な感じがする。もっとアピールすべきと思う。 ・観光客にはどの様にアピールしているのか。たくさん利用してもらいたい。
8	宣伝、周知に費用を掛けてはどうか。
9	PR不足ではないか。循環バスのことを知れば、もっと利用が増えると思う。
10	運行時間を遅くまでする日(金、土など)をもうけて、飲み歩きイベントなど、あきたパール街のようなものとコラボしてPRする。
11	各事業者へ、秋田駅からのアクセスを「徒歩〇分」ではなくて「ぐるるをご利用ください」にしてもらおう。HPやパンフレットに入れてもらう事で認知度がUPすると思われる。
12	循環バスの運行については、まだまだ市民の認知度は低く、市の広報”あきた”で大いにPRし利用促進をはかるべき。
13	ぐるるのことは知っていますが、どこから出発しているのか、何分に1本の割合で走っているのかというような具体的な事はあまりよく知らない。もっとPRして、採算のとれるようにしてほしい。
14	1日乗り放題があまり知られていないようだ。観光客にも、もっと宣伝すれば良いのではないかと。
15	今まで循環バスの存在を知らなかった。駅前周辺に住んでいる方なら知っているかもしれないが、秋田は何をやるにも知らせる、という努力をしていないように感じる。 いいものがあるのにそれを知らない為に利用してもらえないのならやっている意味がないと思う。知らせていないために市費の負担があるなら廃止すべき。もっと知ってもらい、たくさん利用してもらおうことを考えてほしいと思う。

意見等について市の考え

循環バスの利用者数は年々増えてきており、広報やリーフレットの配布などこれまでのPRの効果が市民・観光客などに浸透してきつつあるものと考えております。
しかし、循環バスを知らない人も多いことから、引き続きPRを行い利用者拡大に努めるとともに、ルート沿線で行われるイベント時の利用など、関係機関と連携を図りながら中心市街地活性化の一助となるよう努めてまいります。

【③運行負担金・運行の継続に関すること】

◇運行負担金

No.	意見・要望等
1	受益者負担はあって良いと思う。
2	640万も市が負担しているのなら、20分間隔で運行というのは、便が多いので、30分間隔か1時間に1本とか、本数を減らすべき。
3	市と周辺事業者相互の負担で運営してほしい。
4	中心市街地には必要だと思う。負担金が大変なら、もっとカットすべき無駄な予算があると思う。

5	採算がとれないなら無理に20分間隔にしなくていいと思う。便利ではあるが。
6	負担金は市もちろんだが、周辺の事業者も両方が出資すればいいと思う。
7	市の負担がこれ以上増えないようにしてほしい。
8	運行する場合ある程度負担するのも悪いとは思わない。中身の問題と思う。
9	中心市街地へ出かけるのには路線バス・電車・車ででかけ、目的地がはっきりしている場合は、車でのりつけることがほとんどである。従ってぐるを利用することはない。利用しているのは中心地に住む住民だけというのであれば市費の負担に公平さを欠くのではないか。
10	もう少し運行間隔を長くして本数を減らしたら負担も軽くなるのではないか。
11	問7は、いましばらくPDCAするのであれば事業を継続して、市の負担もあってよい(約640万円程度なら)が、現状のままではダメ。一定の改善作には周辺部の便益も算出して、適当な負担をしてもらうことも検討してよいと思う。

◇運行の継続に関すること

1	市の負担が少しでも減り、続いていくことを願う。
2	東京、金沢、仙台等の都市と比べて秋田中心は循環バスを運行するほど発展していないと思う。これから利用者が増加するとも思えないので廃止すべき。
3	利用状況を見るとあまり効果がなく、良い案も時には廃止もやむを得ない場合もあるかと思う。
4	採算がとれないのでは廃止するしかないと思うが、ルート付近の高齢者、幼児のいる家庭にとっては利用しやすいのかもしれない。車の駐車出来る、市役所、県庁までのルートの変更があると利用者の増加が見込まれるのでは。車移動が主である秋田にはあまり実状に合わないかもしれない。それでも廃止出来ないのであれば利用者を増やす努力は必要と思う。
5	新しいコースや、イベント等利用客数の増加が見込まれるならば、今後も運行すべきと思うが、現状の利用客数ではあまり必要と思わない。

意見等について市の考え

循環バスについては、64%の皆様から運行を続けるべきとの考えが示されている一方、経費負担にかかる市の在り方については様々なご意見があることから、利用者拡大のための方策と併せ、負担の在り方を検討するための参考とさせていただきます。

【④その他】

◇中心市街地活性化

No.	意見・要望等
1	中心市街地のにぎわい創出にもっと活気が欲しいと思う。観光といっても、大人も子どもも、そして加齢者も楽しめるスポットが少ないと感じる。以前の駅前の周辺のにぎわいがなくさみしい。
2	中心市街地活性化につながっていない。
3	秋田市の活性化につながることの重大案件に、市、市民、業者が一体となって協力体制を作り、実行し、活力溢れる秋田市を皆で作るべき。基礎体制は既に出来ているので、後は、皆で実践するのみ。

◇その他

1	雄和では、車のない子供が電車を利用して市内に行きたいのに、電車にまにあうバスがない。常に空で走っているバスをよくみかける。乗せる気があるのであれば、電車にあわせたバスの運行を強く希望する。
2	中心部の商店などの協賛を得て、各店毎、もしくは、共通で利用できる「クーポン券」を、利用客へ渡してはどうか。
3	夏休中だけでも駅から動物園までの無料バスの運行がほしい。山形(酒田方面)の方から意見があった。
4	・循環バスの利用者のターゲットを観光客にしぼっていくのなら、問6の2、4、5などを考えていけばいい。(盛岡市内をめぐるバスは、同じようなものだった。とても便利でよかった。) ・中心市街地にぎわいのために、市民がこのバスを利用して乗ることはないのではと思う。
5	駅前には駐車場が有料なのであまり利用する機会がない。有料パーキングとの兼ね合いもあるので無料駐車場を設けることは難しいと思うので、有料パーキングの無料券や割引きされる券などにあてた方がいいと思う。
6	・駅前でのイベント等とコラボしてはどうか。 ・ケータイのアプリで運行状況チェックできたら便利かもしれない。
7	こんなバスがあることをはじめて知った。運行ルートを見ると、たまに自分が利用するバスのルートとそんなに変わらないので多分利用することはないかもしれない。それよりも何か行事があったりしたときに目的地まで行くバスがあればと思う。

8	①何台のバスで巡回しているのか。 ②運転手の挨拶を必ずした方がいいと思う。録音による機械的アナウンス以外に肉声を使う必要あり。
9	記念日やイベント時に無料運行を行い「便利である」と意識させる事が大事かもしれない。ホテルや飲食店にクーポンを置くのも良いかもしれない。 タクシーとの競合路線のため大人4人の利用料金が高いかもしれない。
10	60代、70代のカルチャー、趣味の講座への参加熱は盛んであることから文化施設を秋田駅周辺のみにかたよらせず、ぐるる運行周辺に拡散することができたなら、利用が増えるのではないか。
11	バス停留所の商店および観光施設にとっては循環バスは来客誘致の絶好の手段であり、その運営には全社積極的に参加協力すべきであり、そのような体制作りを早急に行い、具体的活動に入り成果を挙げるべき。
12	バス走っているのはよく見かけますが、どうして人がいっぱい乗らないのかと思う。イベントがある時や春、秋のシーズンに秋田博物館等に車があると利用する人が助かる。普段のバスも、そちらの方は廃止になっているので残念。
13	循環バスは、駅前～中通、山王、八橋周辺を充実させ、市営バスは郊外のルートを充実させる。
14	説明資料で、「周辺部の便益を受ける事業者等」や「バス利用サービスを受けた利用者の時間・労力or他の交通手段の場合のコストメリット」を含めた費用対効果がないので、それを示してほしい。
15	観光客がターゲットであれば、JRで秋田を訪れた人達、飛行機で秋田空港に来て、バスで秋田駅まで来た人達が対象だろうから、そういう人達への周知が必要かと思う。この場合、旅行の出発前にある程度、利用する交通手段や行動予定を決めているだろうから、秋田駅や秋田空港にポスターを掲示しても周知に効果が高いとは思えない。 中心市街地への買い物客がターゲットであれば、自家用車を持たない人達が対象になるだろうから、そういう人達がどうやって中心市街地まで来るのか。来るまでの交通手段も念頭に、周知方法や循環バスのルートなどを考え直す必要があると思う。 いずれにしても、現状のままでは、自家用車で中心市街地を訪れる人達には、循環バスを利用するという動機は生まれにくい。 自家用車で中心市街地を訪れる人達にバス利用を促すためには、パーク&ライド方式で中心市街地は自家用車の通行を禁止して、通行可能なのはバスだけに制限する、などの思い切った対策でもしないと、バスの利用者は増えないと思う。 昔、金沢市が市街地の渋滞緩和を目的として、パーク&ライド方式の社会実験を何度も実施していたが、その後どうなったかまでは知らないが、参考にできるはず。 あと、循環バスの先例としては、仙台のるーぷるがある。利用者目線で実際に経験することも大事と思う。 ともかく、最終的な目的・目標は「バスの利用者を増やすこと」ではないはず。 今回のバス利用という市民生活の一部だけを切り取って、どうすれば良いかと部分最適化することだけを考えても意味がない。最終的な目標・目的が何で、そのために何をやれば良いか？全体最適の観点で考えるべき。 最終的な目的は、中心市街地の活性化なのでは。交通手段や足の確保は重要だが、それだけでは中心市街地に出かける動機にはならない。 やはり、内容・中身・コンテンツも重要。与次郎駅伝などの規模の大きなイベントだけでなく、大中小様々な規模のイベントを 毎週のように開催したらよい。ターゲットを絞って実施すれば、そのイベントの主旨に賛同・琴線に触れた人達は必ずやってくると思う。

意見等について市の考え

引き続き交通事業者や関係機関と連携を図り、公共交通の利便性向上に努めるとともに、循環バス事業のみならず将来にわたり公共交通を維持していくための参考とさせていただきます。